

長期使用住宅部材標準化推進協議会の会長に戸崎富雄氏



長期使用住宅部材標準化推進協議会は5月27日に定時総会を開催し、新会長に戸崎富雄住友林業執行役員住宅・建築事業本部副本部長（写真）が就任した。

同協議会は、住宅を長く住み継ぐために不可欠なメンテナンスを容易にするため、住宅部材の標準（共通）化を推進することを目的に活動しており、住宅メーカー・建材メーカー・住宅設備機器メーカーなど112社が参加している。2020年度は長期使用対応部材（CjK部材）として新たに12品目を標準化、CjK部材総数は116品目となった。2021年度の活動としては、次期ロードマップ策定と事業化計画を達成するための各事業分科会の活動支援、CjK部材の採用・供給交換体制における表示事案に関する適正な運用・推進の実施、他団体との協業推進および展示会への出展等による一般消費者を含めたより一層の普及促進を図ることになっている。

三協アルミ、複合サッシにトップクラスの耐風圧仕様追加

三協立山・三協アルミ社はこのほど、アルミ樹脂複合サッシ「アルジオ(ALGEO)」に業界トップクラスの耐風圧性能となる「S-5仕様」を追加・発売した。アルジオは、手入れが簡単なフラットレールなどの使いやすさに加え、暑さや寒さ、強風や大雨などにも強い高耐久性能が特長。近年、台風が大型化の傾向にあることから、従来の耐風圧性能(S-4)をワンランク向上させた「S-5仕様」を発売した。

アルミ部分の肉厚を厚くすることで剛性を高め、強風にあおられた際の風圧による変形を少なくしたほか、ダブルクレセント障子、自走防止引違い網戸など強風に強いオプションを設定。「アルジオS-5仕様」とシャッターを組み合わせた「アルジオレジリエンスパッケージ」も用意している。